



# 平成 28 年度 西区実施プラン期末報告

平成 29 年（2017 年）3 月 札幌市西区

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定め、それに沿って計画した各重点取組項目について、検証しながら進めてきました。

その結果、平成 28 年度 of 取組結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

平成 29 年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

平成 29 年（2017 年）3 月 31 日

西区長 浦屋 謙

## I 西区実施プランの全体

### ◇ 西区の使命

区民だれもが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、区民の自主的な活動を支援しながら、区民が主役のまちづくりを進めていくことが西区の使命です。

### ◇ 西区の目標・運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく環境・文化芸術・防災の各事業を中心に行うとともに、次の方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

- ◆ 地域の豊かな自然環境や文化芸術を活かしたまちづくりを進めます。
- ◆ 安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
- ◆ 区民から親しまれ信頼される区役所を目指して、市民感覚を大切に、市民の立場に立って仕事を進めます。

### ◇ 重点取組項目

- 1 地域と共に進めるまちづくり
- 2 誰もが安心で健やかに暮らせるまちづくり
- 3 環境にやさしいまちづくり
- 4 文化芸術を活かしたにぎわいあるまちづくり

## Ⅱ 重点取組項目

### 1 地域と共に進めるまちづくり

#### ◇ 地下鉄宮の沢駅周辺のにぎわいを創出

11月に、宮の沢地域の拠点のひとつである「ちえりあ」の1階ロビーに無料Wi-Fiスポットを設置し、「ちえりあ」屋外広場では、12月にイルミネーションの設置、さらに2月には「ちえりあ広場を雪だるまで飾ろう！ in 宮の沢」と題し、地域住民の世代間の親睦や外国人観光客との交流を促すイベントを実施しました。

また、宮の沢駅周辺のにぎわいを促進することを目的としたまちづくり計画の策定に向け、「宮の沢まちづくり協議会」を設立し、第1回会議を2月22日に行いました。



イルミネーション in ちえりあ広場



ちえりあ広場を雪だるまで飾ろう！ in 宮の沢

#### ◇ 地域の課題解決をまちセンがサポート

区内に8カ所ある「まちづくりセンター」が、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえたさまざまな事業を行い、住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指しました。

##### 八軒まちづくりセンター

##### 地域の力を結集し支え合う - 防犯パトロール活動及び高齢者見守り活動 -

八軒連合町内会を中心に、関係団体や事業者などによる「八軒まちづくり協議会（八軒サポート隊）」を構成し、安全・安心なまちづくり、地域で支え合うまちづくりを進めています。青パト防犯活動では、学校や新聞販売店も協力し、子どもへの声かけ犯罪防止に大きな力を発揮しました。また、見守り部会、防犯部会をそれぞれ開催し、事例報告や講演により、情報交換や研修を実施しました。



青パト防犯活動（活動者 88 人）



高齢者見守り部会（参加者 41 人）



防犯部会（参加者 40 人）

## 琴似二十四軒まちづくりセンター

### 「まちづくり協議会」の各事業を全面的にバックアップ

#### (1) 琴似地区まちづくり協議会

屯田の森の歴史的意義を継承し、若い世代の理解を深め、夏のひとときを地域で楽しむことを目的に、「第1回琴似屯田夏まつり」を開催しました。

(8月6日、約600人が来場)



琴似屯田夏祭りの様子

#### (2) 二十四軒会館コミュニティサロン等運営協議会

三角山放送局（FMラジオ）が「親子盆踊り大会」の生放送による実況中継を行い、来場を促進するとともに連町活動のPRを行いました。

(8月11日、約1,000人が来場)



三角山放送局の実況中継

## 西町まちづくりセンター

### 「子ども達の夢を応援！！西町・コンサ通りまちづくり事業」

未来を担う子ども達の世代が地域に愛着を深められるような活気ある住みよい街を目指し、「北海道コンサドーレ札幌の選手・コーチの指導による少年サッカー教室」や「地域の小学校で児童とコンサドーレ選手との交流」、「地元企業と連携したお菓子作り体験」などに取り組みました。



コンサドーレ選手との交流

## 発寒北まちづくりセンター

### 発寒北地域内一斉環境美化週間「発北キラキラ7 days」

“地域の皆さんと一緒にこのまちをキレイにしたい！”という小中学生の思いから始まった「発北キラキラ7 days」を、10月3日から9日まで実施しました。

6年目を迎えた今回は、発寒東小・西陵中・北翔養護学校の児童・生徒のほか、町内会、商店街、企業、団体などから延べ約1,400人が清掃活動に参加し、わがまち発北をみんなでキラキラにしました。(発寒小の活動日は雨天のため中止)



発寒東小児童による活動の様子

## 西野まちづくりセンター

### 水車のあるまち西野

かつて西野米と呼ばれるお米を生産する広大な水田地帯だった西野地区の歴史を子どもたちに伝えるため「水車で地域交流会」を実施しました。地域の方から直接、西野の歴史を学ぶほか、瓶や棒を使った昔ながらの精米や縄作り、薪割りした木で火を起こし、羽釜を用いた炊飯などの体験活動を行いました。



歴史を学ぶ



精米体験



薪割り体験



羽釜で炊飯

## 山の手まちづくりセンター

### 三角山で育む“まちづくり心”支援事業

三角山ボランティアが中心となって企画運営する、三角山の魅力発信・保全活動・登山マナーの啓発等に関連する事業を支援しました。

今年の三角山ふみの日登山は天気に恵まれ約 150 人の方に参加いただくことができました。

また、三角山写真展については、山の手地区文化祭に出展するという形で地域に密着した写真展とすることができ、とても好評でした。これを契機に、今後は山の手連合町内会と連携した写真展にしていきます。



三角山ふみの日登山



山の手地区文化祭

## 発寒まちづくりセンター

### 地域にやさしいまちづくりの推進～エコタウンはっさむ

商店街・子ども会・町内会が連携して環境に優しい取り組みを行う「エコタウンはっさむ」の活動を行いました。

公園の落ち葉を発酵させて堆肥化する「みどりの貯金箱」や使用済み天ぷら油をリサイクルして石けんを作る「エコ石けん作り教室」などを行いました。



はつなん公園において小学生と堆肥作り

## 八軒中央まちづくりセンター

### まちづくり探検隊 Part 10～わたしたちのまちの防災～

地域への愛着を深め、まちづくりの担い手としての意識を育むため、琴似中央小学校5年生と八軒中央連合町内会、まちづくりセンターが連携して活動する「まちづくり探検隊」。今年は「わたしたちのまちの防災」をテーマとして、地域の防災について学び、D I G(災害図上訓練)を体験したり、防災施設を見学するなどして防災知識を深め、防災意識を高めました。また、その活動の成果として「防災パンフレット」を作成し、地域へ発信しました。



地域の方々とD I G(災害図上訓練)を体験する児童たち

### ◇ 市民や企業等との連携

西区の魅力発信や地域の活性化を図るため、発寒商店街の地域資源であるクラフトを活用した取り組み「手造通(てあるとおり)プロジェクト」において、札幌市立大学デザイン学科の知見を生かした、クラフト作品コンテストの開催などの連携支援を行いました。また、地域企業の北ガスフレアスト西(株)と連携し、同社ショールームを活用して南極料理人 西村淳氏による「食材を無駄にしない環境に優しい料理教室(オーロラキッチン)」を開催し、地域課題の解決に向けたネットワークづくりを促進しました。



手造通ショールームグランドオープン

### ◇ 区内のまちづくり活動の情報発信

広報さっぽろや西区ホームページ、区役所にある掲示板などで、町内会による自主防災の取り組みや商店街による地域活性化のイベントなどを紹介し、活動の担い手の発掘や参加の促進に努めました。



区役所1階ロビーにある掲示板で、地域のまちづくり活動の様子を紹介

## ◇ 西区花とみどりの回廊づくり

道路景観の向上を目指し、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）のラベンダーによるシンボルロードづくりを、沿道の企業・住民との協働より進めたほか、新川コスモス街道づくりや道路の植樹ます・植樹帯への花植えによる歩道美化を地域住民との協働で行いました。（38 団体、約 18,000 株の花苗を配布）



二十四軒手稲通（ラベンダー通り）



花苗植栽による歩道美化

## 2 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり

### ◇ 地域の防災力強化

特定の地域を対象に自主防災に関する取り組みを積極的に支援する「災害に強いまちづくりモデル事業」を山の手地区及び発寒地区で実施するとともに、8月に西区防災訓練や防災リーダー研修を開催することにより、地域の防災力を高めました。

また、地域団体と防災関係団体が一堂に会する「西区災害防止安全対策連絡会議」を2月に開催し、防災に関する情報の共有化を図り、9月に実施した西区災害対策本部訓練では職員の災害時の対応力を高めることができました。



西区防災リーダー研修

<数値目標> 防災リーダー研修の参加者数 100 人⇒実績 154 人

### ◇ 地域主体の子育て活動の充実

地域が主体となって開設している 14 カ所の子育てサロンの活動を支援するとともに、西町連合町内会の新たな子育てサロンの開催を支援しました。

子育て情報ステーション「さんかくやまベエのへや」などにおいて、利用者のニーズに添った情報提供や子育てに関する相談に応じるなど、子育て支援の充実を図りました。



夏だ!!さんかくやまベエまつり

6月には、安心して子育てできる地域の環境づくりを進めるため、地域における子育て関係機関・団体と情報交換会を開催しました。

<数値目標> 子育て情報ステーション利用者数 3,500 人⇒実績 5,298 人

子育てサロンや託児などのボランティア活動参加者 1,700 人⇒実績 2,241 人

#### ◇ 地域との協働による健康づくり

健康づくりに取り組む団体や自主活動グループとの協働で、健康フェアや健康講座、運動体験会などの健康づくり事業を行いました。また、健康づくり活動がより多くの区民に広がるよう、今年度から新たに子育て世代を対象とした健康講座などを開催しました。

<数値目標>

地域と協働した健康づくり事業の参加者数 1,800 人

⇒実績 47 回、1,828 人



地域での健康講座

#### ◇ 介護予防体操の普及

介護予防体操「エコロコ！やまべえ誰でも体操」が区民の手で広まるよう普及員を養成する講座を開催（受講者数 18 人）したほか、幅広い対象への普及を目指し、介護保険関連施設や事業所の従事者を対象とした専門職向けの普及員養成講座を開催（受講者数 12 人）しました。これまでに登録された普及員は 193 人となりました。

普及員となった皆さんは YOSAKOI ソーラン祭り、ふくし元気西区マーケットなど大規模なイベントや区内各地区のイベントに例年参加して体操を紹介するとともに、今年度新たに西区 YOSAKOI ソーランふれあいフェスタに参加し、市内のよさこいソーランの団体と一緒に体操を披露しました。また、西区ときわ大学で普及員の活動内容や体験を発表し、普及員の活動周知も行いました。

今後は、普及員が主体となり体操を実施する場が増えてきており、定期的に体操を実施している団体の情報を集め一覧にして、公開いたします。併せて、体操を実施している場が広く周知されるよう、活動の目印になるステッカーを普及員の皆さんと一緒にデザインを考え作成しましたので、配布していく予定です。

<数値目標> 普及員数 200 人⇒実績 193 人



普及員養成講座



活動場所ステッカー



地域イベントへの参加の様子

### 3 環境にやさしいまちづくり

#### ◇ 西区環境まちづくり協議会を中心とした環境活動を支援

住民による環境活動が定着・継続・発展するまち（通称「エコまち」）を実現するため、区民協議会である「西区環境まちづくり協議会」の活性化を図るとともに、同協議会が実施する活動を支援しました。

##### (1) 西区環境まちづくり協議会支援補助金

西区環境まちづくり協議会の活動に対し、補助金を交付しました。

<補助金を活用して実施された主な活動>

#### ◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区コドモ自然学校」

西区の自然の中で季節に応じたプログラムを行う自然体験教室を、琴似発寒川や五天山公園などで実施しました。

（エコキッズ・プログラム 49 回 2,553 人、親子でエコキッズ・プログラム 2 回 親子 26 組 62 人、西区コドモ自然学校 2 回 54 人参加）



西区コドモ自然学校

#### ◆「親子で環境満喫バスツアー」

リサイクルや省エネ啓発を目的として、親子で札幌市内の工場をめぐり、各施設の省エネやリサイクル等の環境に関する取り組みを学ぶバスツアーを開催しました。（2 回、親子 37 組 75 人参加）

#### ◆「西区こども環境広場」

札幌市生涯学習総合センターちえりあにて、さまざまな体験やゲームなどを通じて、楽しみながら環境について学ぶ体験型環境イベント「西区こども環境広場」を実施しました。1 階ロビーのステージでは、区内児童が日頃より取り組んでいる環境の取組について発表する「子ども環境活動発表会」や環境について気軽に楽しめる子ども向け紙人形劇「救え、琴似発寒川」を開催しました。（11 月 26 日、延べ 720 人参加）

##### (2) 大学との連携による環境教育プログラム構築事業

次代を担う子ども達に質の高い環境教育を提供していくため、西区環境まちづくり協議会・大学・区内小学校等が連携し、区内小学校教員向けの川の活動解説本「西区の川でまなびたい」を 500 部製作しました。完成した冊子は、区内小学校や図書施設等に配布しました。



川の活動解説本「西区の川でまなびたい」



#### ◇ 琴似発寒川の環境保全推進事業

区内各連合町内会や企業等との協働による琴似発寒川の一斉清掃（5月14日及び9月3日、合計3,296人参加）とやまめの稚魚放流（5月21日、2,030人参加、稚魚放流数30,000匹）を行いました。

<数値目標>一斉清掃とやまめの稚魚放流参加者数  
5,000人⇒実績5,326人



稚魚放流の様子

#### ◇ 「みどりの貯金箱」活動への支援

「みどりの貯金箱」活動による公園の落ち葉・刈草などの堆肥化を実施しました。

活動への支援としては、今年度に新設の要望はありませんでしたが、地域要望にて八軒東公園1カ所の改修を行いました。

また、せん定枝・伐採木の配布を8月と11月の計2回実施し、みどり資源の有効活用を行いました。

<数値目標>

みどりの貯金箱設置数3カ所（23カ所→26カ所）  
⇒実績0カ所（改修1カ所）



八軒東公園のみどりの貯金箱

## 4 文化芸術を活かしたにぎわいあるまちづくり

#### ◇ 西区文化フェスタ

2月5日から2月26日の日程で、クラシックコンサート、ライブ、ダンス、演劇、日舞などさまざまなジャンルの芸術文化イベント17公演を行いました。今回からこれまで会場としていたことにパトス以外の会場でも実施。オープニングイベントとしてちえりあホールを会場に、「札幌市民交流プラザ Presents 宮沢賢治が聴いた世界」と題して、札幌交響楽団のチェロ奏者石川祐支氏や西区の音楽愛好家で結成された西区オーケストラを招き、賢治ゆかりの音楽を奏でる演奏会を行ったほか、さらに身近な場所で芸術に触れる機会を提供するため、はちけん地区センターで「ヤング・ホッカイドウ・フィルハーモニー（YHP）による第九」を行いました。

<数値目標> 来場者数2,000人⇒実績2,729人



オープニングイベント「宮沢賢治が聴いた世界」  
（西区オーケストラの演奏）



## ◇ コトニ ジャズ

地下鉄琴似駅を会場に、夕方の通勤客でにぎわう時間帯に、蛇池雅人氏や小野健悟氏、飛澤良一氏など、札幌で活躍するプロのミュージシャンが出演するジャズライブを6・8・9月の3回実施しました。

冬季には会場をことにパトスに移し、地下鉄駅構内では演奏できないドラムやトランペットなど大音量の楽器を加えてのライブを2回実施。12月にはサッポロシティジャズ実行委員会との共催により、サッポロジャズアンビシャスを招き、これまでとは雰囲気の違いの違うライブを行いました。

2月には、時間帯を昼に移し、ヤマハ琴似センターとの共催により、西区文化フェスタのPRイベントを兼ねて「コトニジャズmini」を実施しました。



コトニジャズ vol.30(6月実施)

## ◇ コトニ クラシック

地下鉄琴似駅を会場に、札幌交響楽団コンサートマスターの大平まゆみさんによるクラシックコンサートを行いました。季節に合わせたバイオリンの名曲や郷愁たどよう日本の唱歌など、夏季に3回実施しました。

また、地下鉄駅構内が寒くなる冬季には会場をことにパトスに移し、大平さんのほか、札幌交響楽団ホルン奏者の橋本敦さん、ピアニストの浅井智子さんをゲストに招き、演奏会を行いました。



コトニクラシック vol.15(9月実施)

<数値目標> コトニ ジャズとコトニ クラシックの来場者数 1,000 人⇒実績 1,690 人

## ◇ コトニ☆ナイト

音楽、映像及びダンスパフォーマンスを融合したイベントを9月と3月に開催しました。9月の開催では、米国ポートランドの画家イーチョー氏が会場に流れる音楽からひらめきを得て、作品を完成させるなど、目と耳で楽しめるイベントとなりました。地元琴似中学のダンス部のメンバーも参加し、熱いダンスでイベントを盛り上げました。

<数値目標> 来場者数 220 人⇒実績 320 人



琴似中学校ダンス部のパフォーマンス  
(7月に全国ダンスドリル選手権大会で審査員特別賞を受賞)

## ◇ こども・あーと・にしく

小学校の夏休み・冬休み期間を利用して、子ども向けのワークショップを実施。子どもが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供しました。

札幌市芸術文化財団との共催により年3回行い、7月は芸術の森で魚の七宝焼を制作し、8月はギターで「聖者の行進」をアレンジするリコーダーワークショップを実施、また、1月は札幌彫刻美術館で雪像彫刻展に参加するなど、講師である造形作家や音楽家のノウハウを学びました。



「七宝焼きでカラフルなお魚を作ろう」(7月実施)



「聖者の行進」がみんなのアレンジで大変身(8月実施)



「ペンギん村を作ろう」(1月実施)